

Q2は案件納入の遅延と経費増が影響するが、通期予想は据え置かれ、年間配当金は増配へ

決算サマリー

タカミヤ(以下、同社)は11月8日の引け後に2025/3期Q2の決算を発表した。主要業績数値は、売上高21,236百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益802百万円(同33.5%減)、経常利益640百万円(同56.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益(以下、当期純利益)498百万円(同50.5%減)であり、期初予想を下回った。

事業別概要

プラットフォーム事業は、Iqシステムの運用マネジメントサービス「OPE-MANE」を中心に「タカミヤプラットフォーム」の活用は拡大し、追加部材の納入などの付属サービス売上は順調に増加した。この結果、売上高2,191百万円(同173.8%増)、営業利益388百万円(前年同期は営業損失19百万円)となった。

販売事業では、仮設部門において、一部見込案件の納入時期の遅れがあった。国内建設需要は堅調であるものの、人材不足等による工事延期などの影響を受けた。また、販売価格改定もあり、一時的にレンタル利用の傾向が強まった。この結果、売上高4,624百万円(同16.6%減)、営業利益297百万円(同49.5%減)となった。

レンタル事業は、建築分野、土木分野ともにレンタル需要は依然として高く、仮設機材の社外出荷量も前期対比で増加した。利益面においては、先行投資を進めたことや、子会社の役員退職慰労引当金の見直しなどを行った結果、人件費、減価償却費を中心に販管費が増加し、売上の増加で補いきれなかった。この結果、売上高13,223百万円(同4.6%増)、営業利益1,294百万円(同20.0%減)となった。

海外事業は、海外営業部門のあるホリーコリアでは、販売、レンタルともに前期対比で売上が減少した。DIMENSION-ALL INC.(フィリピン)では、大型プロジェクトの計画見直しで、依然として厳しい状況が続いた。この結果、売上高3,637百万円(同11.9%減)となった。利益面は為替の影響で利益率が改善し、営業利益は265百万円(同25.5%増)となった。

2025/3通期業績見通し

通期業績予想は期初予想から変更はない。一株当たり期末配当金は、従来の8円に加えて記念配当金2円を実施する。従って、上期配当金の6円と合わせて、一株当たり年間配当金は16円(従来14円)を見込んでいる。SIRでは今後取材後にフォローアップレポートを発行する予定。

決算期	売上高 (百万円)	YoY (%)	営業利益 (百万円)	YoY (%)	経常利益 (百万円)	YoY (%)	当期純利益 (百万円)	YoY (%)	EPS ⁽¹⁾ (円)	DPS (円)
2022/3期	39,800	2.5	1,682	6.1	1,954	24.5	965	12.6	20.10	14.00
2023/3期	41,894	5.3	2,253	33.9	2,400	22.9	1,460	51.3	30.28	14.00
2024/3期	44,127	5.3	3,404	51.1	3,580	49.1	1,887	29.3	39.00	14.00
2025/3期(会予)	49,500	12.2	3,600	5.7	3,220	-10.1	2,000	5.9	42.93	14.00
2024/3期 Q2	20,792	5.0	1,205	57.9	1,485	30.6	1,006	34.7	20.81	6.00
2025/3期 Q2	21,236	2.1	802	-33.5	640	-56.9	498	-50.5	10.29	6.00

出所: 同社決算発表資料よりSIR作成 (1) FY19/3期~FY23/3期のEPSは潜在株式調整後

注: SIRでの財務データ処理は短信規定と異なるため記載数字は会社資料と相違することがある。

Q2 Flash

**TAKAMIYA****アナリスト 中嶋俊彦**research@sessapartners.co.jp

本レポートは当該企業からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレーマーをご覧ください。



Sessa Partners

ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp